

ここが聞きたい!

村田 耕一 (公明)

家庭児童相談室の体制の拡充を

改正児童虐待防止法が4月から運用されることに伴い、児童虐待等の相談体制の拡充が求められているが、その具体策を伺う。

A 児童虐待の防止と対応に努める必要があることから、総合相談・支援体制の強化を図るため、子どもの福祉に関する支援全般を担う機能を有する組織として、家庭児童相談室を包含する子ども家庭総合支援拠点を令和3年度に設置していく。



三島駅南北自由通路の具体的進展の可能性

平成5年頃から橋上式、地下式、引込線ルートを約6千万円かけ調査し検討してきたが、平成23年に白紙化。状況に変化はあるか。

A 貨物引込線ルートの白紙化以降、市民要望の強い三島駅の南北を直接結ぶ中央ルート案を模索しているものの、状況に大きな変化はなく、実現性のある具体的な計画案の立案には至っていない。鉄道事業者等との協議を継続しながら、実現の可能性を探っている。

他の質問事項
スマート市役所の推進

沈 久美 (新政会)

三島駅南口東街区再開発に丁寧な説明と市民参加をもって市民合意へ

再開発事業は都市計画決定間近だが市民合意に至っていない感がある。南北自由通路も含め、合意を目指す慎重な対応が図れないか。

A 南北自由通路を整備した場合の費用対効果を改善するため、まずは東街区の事業を早期に完了し、交流人口の増加を図ることが肝要である。権利者の協力と事業者の参画の2つがそろえば機会が貴重であるので、市民の意見を踏まえ丁寧に事業の推進に努めていく。

都市計画に関する説明として、プロセスの開示や公開討論などの工夫を望むが、市民の声はどこまで計画に反映されるのか。

A 都市計画に係る説明や意見等を伺うことが基本となるが、頂く意見等は多岐に渡ると予想される。このことから、都市計画の決定・変更の手続きに係る内容のほか、事業計画や導入施設などに係る内容は、今後、施設計画等を検討するための参考意見として伺いたい。



他の質問事項
立案から40年、関係市長四代目の本意を問う

佐野 淳祥 (改革みしま)

大きく変わる中心市街地の中期計画策定を

三島駅南口再開発、市役所建て替え、裾野市トヨタ実証都市など、中心市街地の役割が変貌する今後10年の中期計画を求めますが、どうか。

A 社会経済環境の変化や周辺の開発動向などを注視しつつ、三島商工会議所、商店街連盟とも連携を図りながら、持続的に発展できる大通り商店街をはじめ中心市街地の活性化の方向性について、第5次総合計画への位置付けを検討していく。

保育士確保で待機児童約200人の解消を

公立保育園の保育士募集には定員5倍以上の28人が応募したが、民間保育園は保育士確保に苦慮している。支援が必要だが、どうか。



他の質問事項
循環バス「せせらぎ号」延伸実証実験の課題

A 民間保育所等の保育士募集を市も情報提供できるような調整を図るとともに、静岡県社会福祉人材センターの保育士無料職業紹介事業、国の保育士宿舎借り上げ支援事業費補助金制度および市の奨学金返還支援事業の活用を呼び掛け、保育士確保の支援に努めていく。

河野 月江 (日本共産党議員団)

三島駅南口東街区再開発に関する情報公開

計画では、権利変換資産額が市の土地約10億6千万円、民間の土地約5億4千万円、建物約8億7千万円だが、算定根拠を伺う。

A 登記情報等により現状把握を行った上で、土地価格は路線価を参考に、建物価格は構造・築年数を踏まえ、事業協力者募集の際に設定した概算の権利変換資産額である。今後、実施予定の土地・建物の詳細な調査を行うことで、より精度の高いものになると考える。



市街地再開発事業の補助金かさ上げの説明は

立地適正化計画に定める中心拠点施設を導入する事業のため補助金がかさ上げ投入されることだが、市民に知らされていないがどうか。

A 1.35倍のかさ上げは国の交付金制度で設けられているものであり、事業協力者募集の準備段階から、議員にはかさ上げを前提としたモデル案を作成し、お示ししている。市民の皆さまには、事業の節目節目において、事業費等についても丁寧に説明したいと考える。

他の質問事項
公立学校教員への「変形労働時間制」導入

甲斐 幸博 (緑水会)

東京オリンピック・パラリンピックの対策

全世界から三島市に大勢の方々が集まる。玄関口となる三島市は、「おもてなし」が必要となるが、対策を伺う。

A 大会期間中の観光客等への「おもてなし」としては、三島駅南口におけるミストシャワーによる暑さ対策や、臨時の観光案内ブース開設の検討、多言語スマートフォンWEBサイトによる飲食店等の紹介などを実施していきたい。

コミュニティ・スクール導入の取り組み

学校と保護者、地域の方の意見を学校運営に反映させることで、子どもたちの豊かな成長を支えるための取り組みができないか伺う。



他の質問事項
後付け安全運転支援装置設置費補助金の検討

A 子どもが抱えるさまざまな課題にそれぞれの立場や見方から解決の方策を考え、協議することが可能となり、これまでに解決が困難であった課題も解決の方策を見いだすことができるようになるため、子どもの豊かな成長を支える取り組みにつながるものと考えている。

石井 真人 (新政会)

三島駅前再開発事業のコンセプトの見直しを

駅前集約型コンパクトシティの再開発事業を自動運転が軸の郊外型スマートシティと連携できるように、計画を見直すべきではないか。

A 自動運転等が普及する将来でも、交通結節点である三島駅前の重要性やコンパクトシティ施策の必要性は変わらないと考えている。定住人口、交流人口増加によるにぎわいと地域全体への経済波及効果を生み出し、市民に喜んでいただける事業となるよう取り組みたい。



三島駅ロータリーの改善を再開発に含まない理由

今の駅前は交通の結節点として不便であるにも関わらず、送迎レーンなど乗降し難い現状の駅前ロータリーを改善しないのはなぜか。

A 三島駅南口広場の抜本的な改善には、広範囲の基盤整備が必要であり、このような構想は過去に検討されたが、事業規模が過大などの理由で断念した経緯がある。なお、南口広場機能の一部は、現在、スロープを設置するなどの改善を図っている。

他の質問事項
長期財政計画を決算に合わせ修正できないか